

新型コロナウイルスまん延下における 避難所運営について

大阪府危機管理室災害対策課

新しい生活様式の実践例 (厚生労働省ホームページより抜粋)

1. 一人ひとりの基本的感染対策

感染防止の3つの基本 ①身体的距離の確保、②マスクの着用、③手洗い

- ・人との間隔は、**できるだけ2m（最低1メートル）**空ける
 - ・会話をする際は、可能な限り**真正面を避ける**
 - ・外出時、屋内にいるときや会話をするときは、**症状がなくてもマスクを着用**
ただし、**夏場は、熱中症に十分注意する**
 - ・家に帰ったらまず**手や顔を洗う**（できるだけすぐに着替える、シャワーを浴びる）
 - ・手洗いは**30秒程度かけて水と石けんで丁寧に洗う**（手指消毒薬の使用も可）
- ※高齢者や持病のあるような重症化リスクの高い人と会う際には、体調管理を厳重にする

移動に関する感染対策

- ・感染が流行している地域からの移動、感染が流行している地域への移動は控える
- ・帰省や旅行はひかえめに、出張はやむを得ない場合に
- ・発症したときのため、誰とどこで会ったかをメモにする
- ・地域の感染状況に注意する

2. 日常生活を営む上での基本的生活様式

- ・まめに**手洗い、手指消毒** ・咳エチケットの徹底 ・**こまめに換気** ・身体的距離の確保
- ・**3密の回避（密集、密接、密閉）**
- ・毎朝の体温測定、健康チェック（**発熱又は風邪の症状がある場合は無理せず自宅で療養**）

3. 日常生活の各場面の生活様式

買い物

- ・通販も利用
- ・電子決済の利用
- ・**1人または少人数ですいた時間に**
- ・計画を立てて素早く済ます
- ・サンプルなど展示品への接触は控えめに
- ・**レジに並ぶときは、前後にスペース**

娯楽、スポーツ等

- ・公園はすいた時間、場所を選ぶ
- ・筋トレ、ヨガは自宅で動画を活用
- ・**ジョギングは少人数で**
- ・**すれ違う時は距離をとるマナー**
- ・予約制を利用してゆったりと
- ・狭い部屋での長居は無用 等

公共交通機関の利用

- ・**会話は控えめに**
- ・混んでいる時間はさけて
- ・徒歩や自転車利用も併用する

食事

- ・**持ち帰りや出前、デリバリーも**
- ・大皿は避けて、料理は個々に
- ・対面ではなく、**横並びで座ろう**
- ・おしゃべりは控えめに
- ・お酌、グラスやお猪口の回し飲みは避けて 等

イベント等への参加

- ・接触確認アプリの活用を
- ・発熱や風邪の症状のある場合は参加しない

4. 働き方の新しいスタイル

- ・**テレワーク**やローテーション勤務
- ・**時差通勤**でゆったりと
- ・オフィスは広々と
- ・**会議はオンライン**
- ・対面での打ち合わせは**換気とマスク**

大阪コロナ追跡システムについて



飲食店や、新型コロナウイルス感染症対策による休止・自粛要請が解除される施設・イベントを通じた感染拡大を防ぐことを目的にしたものです。

施設・イベント会場（「以下施設等」という。）の利用の際、QRコードを活用して利用者が連絡先を大阪府に登録し、同じ日に施設等を利用した方の感染が後日判明した場合やクラスターの発生（おそれを含む）が確認された場合などに、施設等の業態や規模に応じて大阪府から注意喚起を行い、感染拡大を防ぐためのシステムです。

ご協力 のお願い

施設でのシステム導入



施設情報を登録



自動返信メールを受信
QRコードをダウンロード



QRコードを印刷・掲示



QRコード読込み



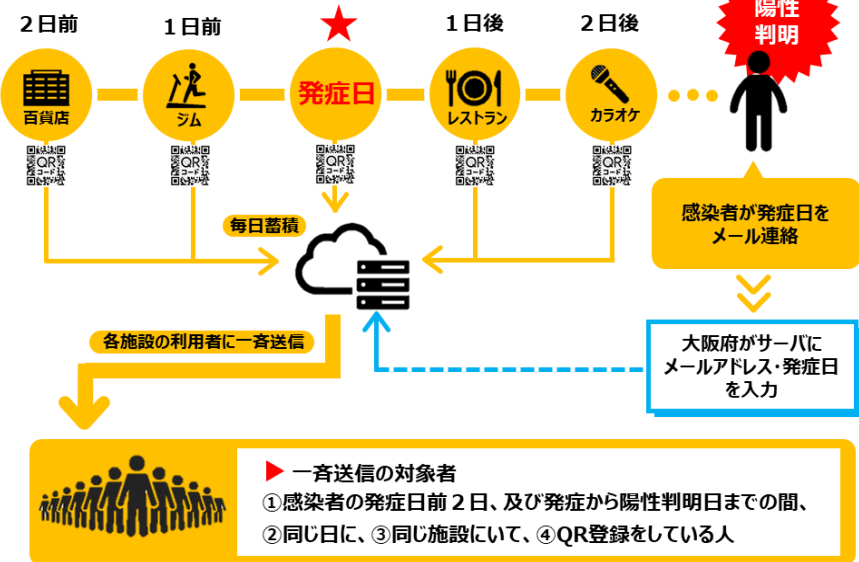
メールアドレスを入力



自動返信メールを受信

大阪コロナ追跡システムについて

感染者が発生したとき



注意喚起メールの内容

あなたが立ち寄られた施設を、新型コロナウイルスの感染が後日判明した方が、あなたと同じ日に利用されていたのでお知らせします。このお知らせは、必ずしもあなたが感染者の近くにおられたことを意味するものではありませんが、念のため、**体調管理にご注意ください。**

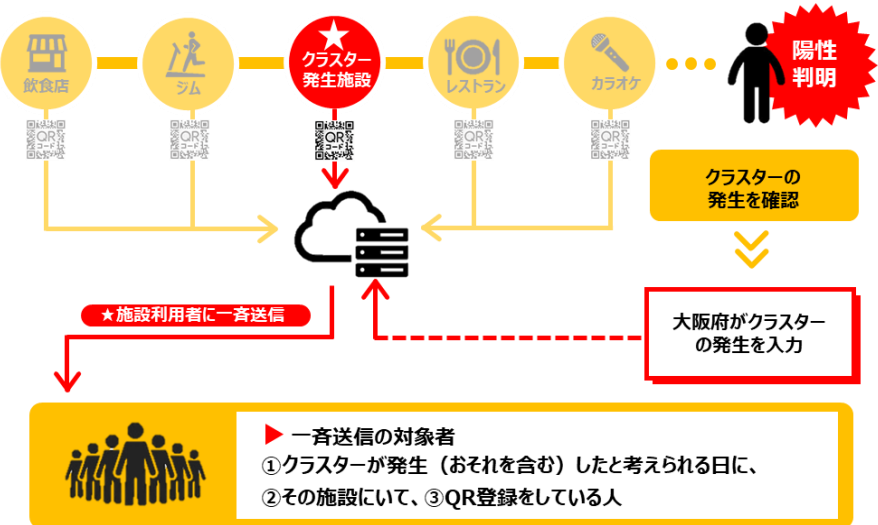
本件に係るお問い合わせは、下記のホームページをご覧ください。

【大阪コロナ追跡システム】

http://www.pref.osaka.lg.jp/smart_somu/osaka_alert/index.html

感染者が特定されるおそれがあるため、**施設名や日時はお伝えできません**のでご理解ください。
(お問い合わせいただいてもお答えすることができません)

クラスターが見つかったとき (おそれを含む)



クラスター発生時の連絡メールの内容

●月●日●時●分に、あなたが立ち寄られた●●施設において、新型コロナウイルスの**クラスター (集団感染) が疑われる事案が発生**しました。

このことが必ずしも、あなたの新型コロナウイルスへの感染を意味するものではありませんが、**症状の有無にかかわらず**、お近くの「**新型コロナ受診相談センター (帰国者・接触者相談センター)**」にご相談ください。

本件に係るお問い合わせは、下記のホームページをご覧ください。

【大阪コロナ追跡システム】

http://www.pref.osaka.lg.jp/smart_somu/osaka_alert/index.html

新型コロナウイルスまん延下における避難所運営について

避難所運営マニュアル作成指針(新型コロナウイルス感染症対応編)

避難所における感染症対策として、新型コロナウイルス感染症まん延下において大規模な災害が起こった場合には、自宅療養者や濃厚接触者の避難先確保、感染を恐れて避難所へ避難しない方への支援、避難所における3密対策や避難先で咳や発熱症状が出た場合の専用スペース確保など多岐にわたる課題が想定されます。

このため大阪府では、新型コロナウイルス感染症まん延時においても各市町村が感染防止対策の徹底を図り、適切な避難所運営が行えるよう、従前より整備してきた『避難所運営マニュアル作成指針(平成29年3月に改訂)』に加えて、**「新型コロナウイルス感染症対応編」**を新たに作成しました。<http://www.pref.osaka.lg.jp/shobobosai/hinanzyo-shishin/index.html>

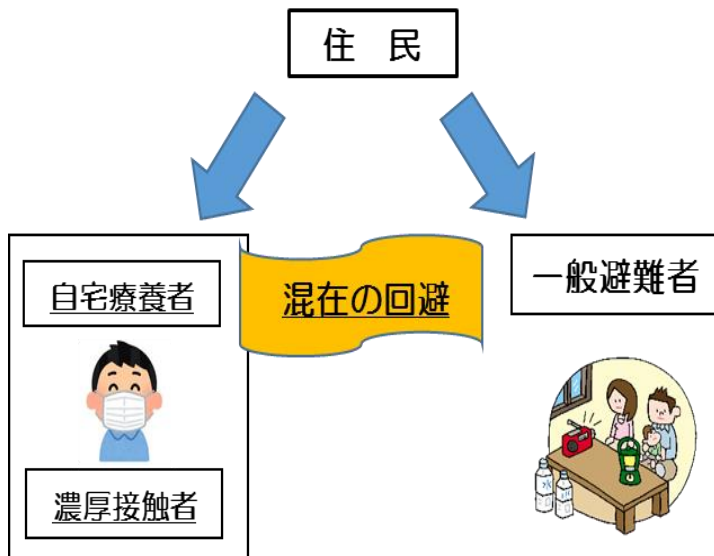
「新型コロナウイルス感染症対応編」(目次)

1. 新型コロナウイルス感染症について
2. 感染防止のための基本的考え方
3. 適切な避難のための事前対策
4. 避難所開設・運営
5. 感染症対応のための避難所開設・運営訓練



新型コロナウイルスまん延下における避難所運営について

ポイント1. 混在回避



一般避難者と自宅療養者・濃厚接触者の混在回避のために

【行政】

・従来の避難所以外で自宅療養者や濃厚接触者の
専用避難所の確保（廃園になった保育園等）

【避難者】

・**自宅での待機や親戚・友人の家等への避難**の検討

【避難所】

・**ゾーニング**の実施

ポイント2. 必要な物資

非常時持出品に下記のアイテムを追加しておきましょう！

新型コロナウイルス対応の持出品リスト

衛生用品

マスク

台所用洗剤

アルコール消毒薬

手洗い洗剤

体温計

新型コロナウイルスまん延下における避難所運営について

ポイント3. 避難所の開設・運営

総合受付の設置

- ・一般避難者と自宅療養者・濃厚接触者などを振り分けるための**受付設置**
- ・受付待ちの避難者が身体的距離を確保できるように、**テープやカラーコーンで目印を設置**

衛生環境の確保

- ・避難所の出入口、トイレ周辺、調理場所、食事スペース等に**手指消毒液を設置**
- ・他人と**共用する物品や手が頻繁に触れる箇所**を工夫して**最小限**にする
- ・手指衛生、咳エチケット、3蜜回避等呼びかける**ポスターの設置**
- ・トイレのふたを閉めて汚物を流すように掲示
- ・**十分な空間**（世帯間で1～2m、一人当たり4㎡程度）を確保



専用スペースの確保

- ・発熱等の症状が出ている人が行動する**ゾーン及び導線分け**を行い、他の避難者との接触を避ける
 - ※例えば、学校の場合、体育館に加え、使用していない空き教室等を含む学校全体のスペースの活用を検討する等、専用スペースの確保に努める
 - ※パーティションや間仕切り、簡易テント、段ボールベッド等の使用も留意

新型コロナウイルスまん延下における避難所運営について

ポイント3. 避難所の開設・運営

新型コロナウイルス感染症対応時の避難所レイアウト（例）〈避難受付時〉

R2. 5. 20
第1版

専用階段、専用トイレの確保をする。（専用階段について、確保が難しい場合は、時間的分離・消毒等の工夫をした上で兼用することもあり得る。健康な者との兼用は不可。）

専用スペースと専用トイレ、独立した動線を確保できない場合は、濃厚接触者専用避難所を別途開設することも考えられます。

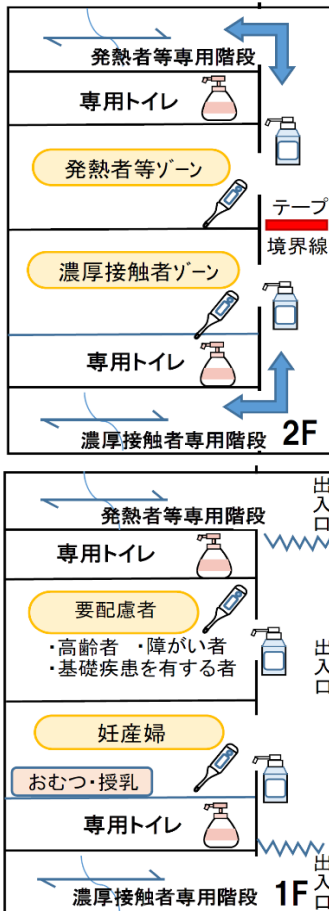
軽症者等（一時的）
・軽症者等は、予め災害時の対応・避難方法等を決めておくことが望ましい。

・軽症者等及び新型コロナウイルス感染症を発症したと疑われる者の対応については、防災担当部局と保健福祉部局等が十分に連携の上で、適切な対応を事前に検討する。

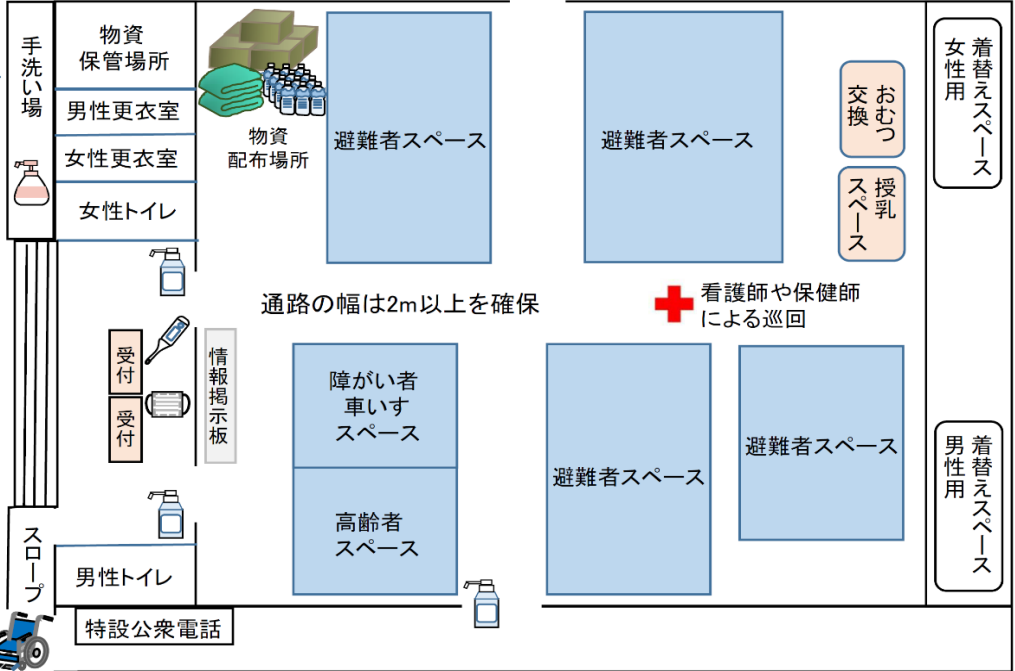
・軽症者等が一時的に避難所に滞在する場合、一敷地内の別の建物とする。
同一建物の場合、動線を分け、専用階段とスペース、専用のトイレ、専用風呂等が必要

※軽症者等であっても原則として一般の避難所に滞在することは適当でないことに留意する。

〈専用スペース〉



〈集合スペース〉



受付時でのチェック

- 避難者カードの記入
- 発熱、咳等、体調の確認
- 要配慮等の確認 など

用意するもの

- ・体温計（非接触型）
- ・アルコール消毒液（手指用）
- ・次亜塩素酸溶液
- ・ハンドソープ、ウェットティッシュ
- ・フェイスシールド
- ・ビニールシート
- ・使い捨て手袋 など

※ 上記は全て実施することが望ましいが、災害時において、種々の制約が想定され、出来る範囲で最大限実施することが望まれる。

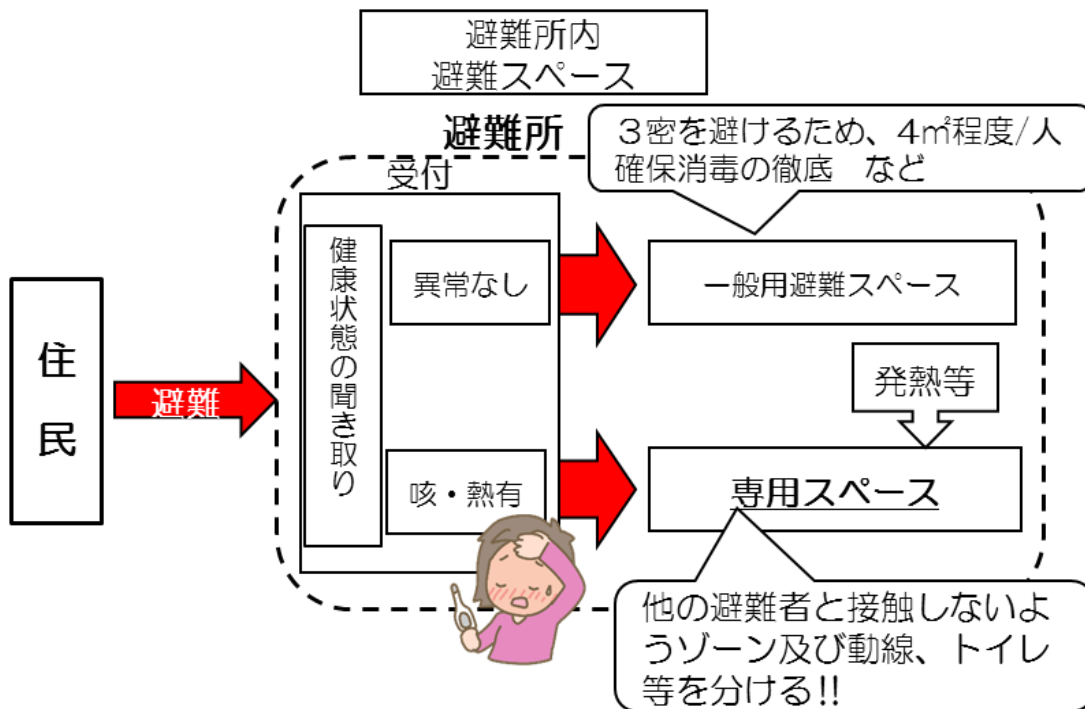
新型コロナウイルスまん延下における避難所運営について

ポイント3. 避難所の開設・運営

総合受付の設置

- ・一般避難者と自宅療養者・濃厚接触者などを振り分けるための**総合受付設置**
- ・受付待ちの避難者が身体的距離を確保できるように、**テープやカラーコーンで目印を設置**
- ・受付チェックシートを活用して**発熱、咳、くしゃみ等の症状**がないか聞き取り、**検温**も実施
- ・**症状がなくても受付時からマスクの着用を呼びかける**

避難所での振り分けイメージ



【参考】 受付チェックシート

〇〇 避難所

①記入日	年 月 日	②氏名	
③体温	度		
④質問項目			
<input type="checkbox"/>	風邪の症状や発熱が数日間続いている		
<input type="checkbox"/>	強いだるさ（倦怠感）や息苦しさがある		
<input type="checkbox"/>	激しい咳症状がある		
<input type="checkbox"/>	基礎疾患（糖尿病、心不全、呼吸器疾患など）がある		
<input type="checkbox"/>	新型コロナウイルス陽性者と判定を受け、経過観察中である		
<input type="checkbox"/>	新型コロナウイルス陽性者と濃厚接触者としたことがあり保健所の経過観察が終わっていない		
<input type="checkbox"/>	直近2週間以内で海外の渡航歴がある		
<input type="checkbox"/>	その他、体調が優れない（味覚・嗅覚異常なども含む）		
⑤その他、備考			

以下を参考として、避難所の状況に応じて判断し、対策を行ってください。

	マスク	目の防護具 ※1	使い捨て手袋 ※3	掃除用手袋 ※3、4	長袖ガウン ※5
避難所受付時の対応	○	△ ※2	○		
清掃、消毒	○	○		○	
発熱、咳等の症状のある人や濃厚接触者の専用ゾーンでの対応 ※6	○	○	○		
発熱、咳等の症状のある人や濃厚接触者の専用ゾーンの清掃、消毒	○	○		○	
軽症者等ゾーンでの対応 ※6	○	○	○		
軽症者等ゾーンの清掃、消毒	○	○		○	○
ゴミ処理	○	○		○	○
リネン、衣服の洗濯 ※7	○	○		○	
シャワー・風呂の清掃	○	○		○	○ ※8

国通知

※1 フェイスシールド又はゴーグル。（目を覆うことができる物で代替可（シュノーケリングマスク等））

※2 スタッフの個々が担当する内容に応じて使用する。

（例：受付で連続して同じ人が複数の避難者に対応する際は着用する。単発的に、短時間（一人15分以内）で接する際は着用不要。）

※3 手袋を外した際には、手洗いをを行う。使い捨てビニール手袋も可。

※4 手首を覆えるもの。使い捨て手袋・使い捨てビニール手袋も可。（複数人での共用は不可）

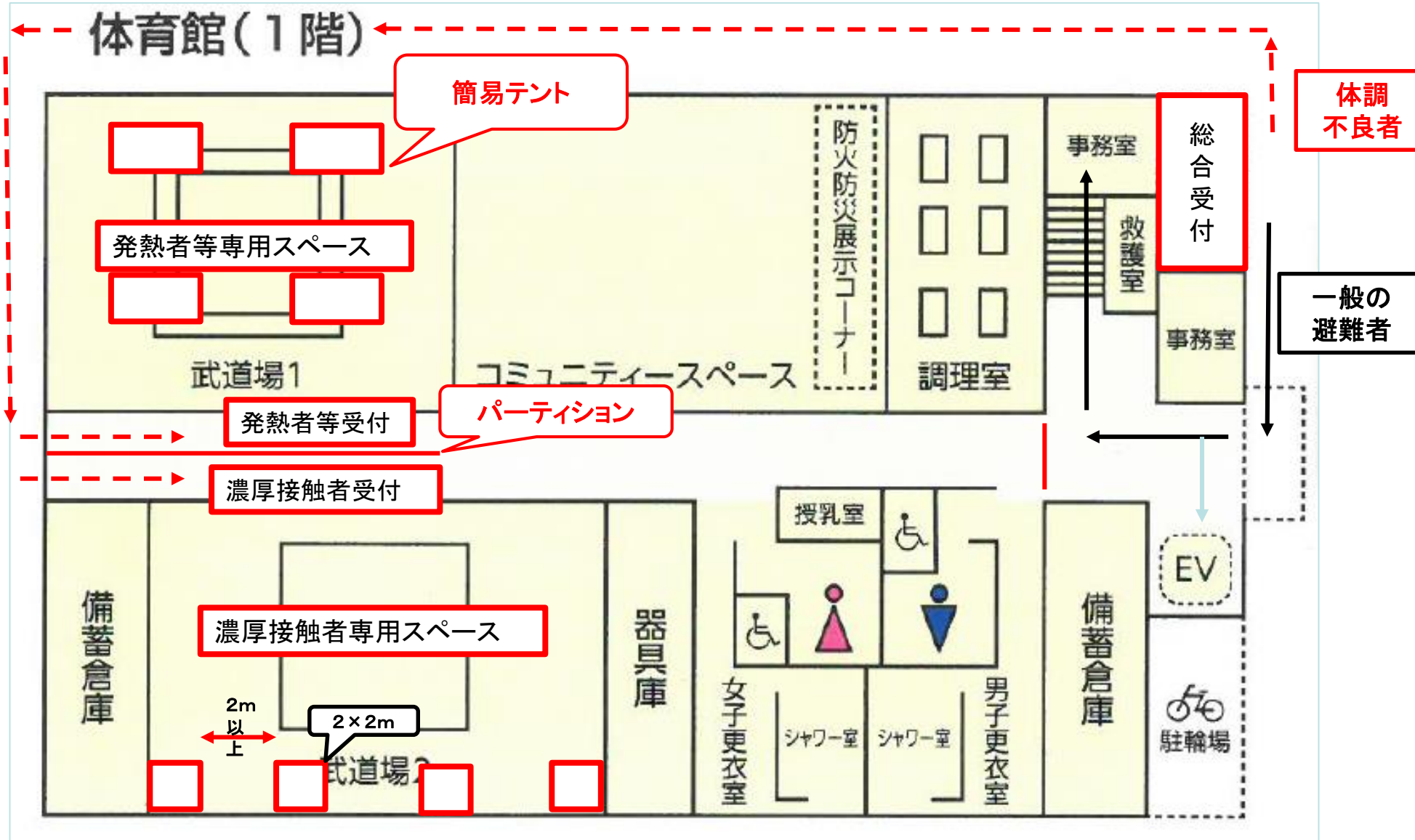
※5 医療用ではないので、ゴミ袋での手作り、カッパでの代用も可。

※6 保健・医療活動は、保健師、看護師、医師が行う。

※7 体液等で汚れた衣服、リネンを取り扱う際の装備。

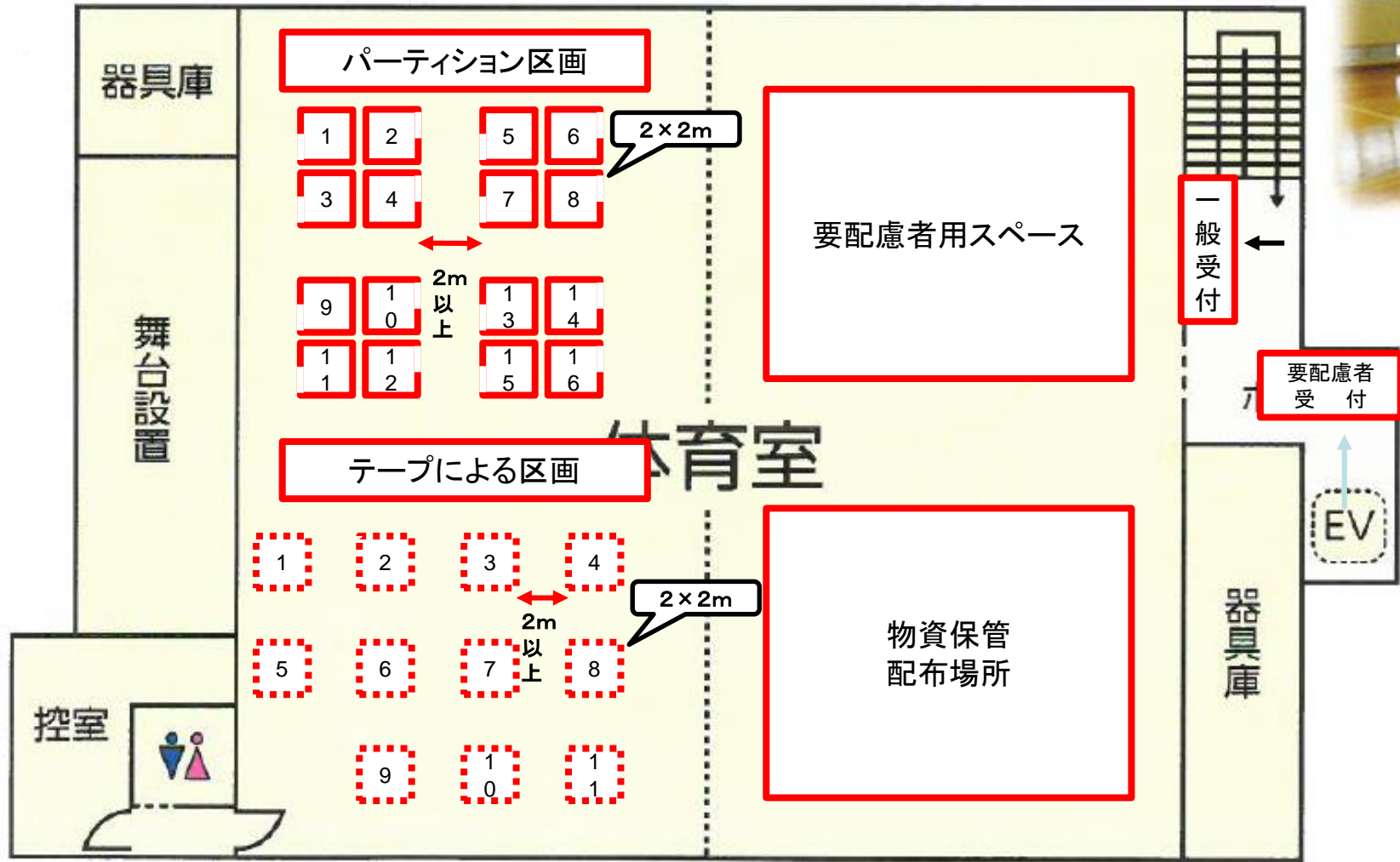
※8 撥水性のあるガウンが望ましい。

新型コロナウイルスまん延下における避難所運営について



新型コロナウイルスまん延下における避難所運営について

体育館(2階)



新型コロナウイルスまん延下における避難所運営について

ポイント3. 避難所の開設・運営

衛生環境の確保

- ・避難所の出入口、トイレ周辺、調理場所、食事スペース等に**手指消毒液を設置**
- ・他人と**共用する物品や手が頻繁に触れる箇所**を工夫して**最小限**にする
- ・手指衛生、咳エチケット、3密回避等を呼びかける**ポスターの設置**
- ・トイレのふたを閉めて汚物を流すように掲示
- ・**十分な空間**（世帯間で1～2m、一人当たり4㎡程度）を確保

手洗気持ちはぴっかぴか!!

新型コロナウイルスを含む感染症対策の基本は、「手洗い」や「マスクの着用を含む咳エチケット」です。ドーナツや電車のつり革など様々なものに触れることにより、自分の手にもウイルスが付着している可能性があります。外出先からの帰宅時や調理の前、食事前などこまめに手を洗います。

正しい手の洗い方

① 流水でよく手をぬがした後、石けんをつけ、手のひらもよくこすり洗います。

② 手の甲をのばすようにこすり洗います。

③ 指先・指の間を裏面をDにこすり洗います。

④ 指の腹を洗います。

⑤ 石けんで洗い終わったら、十分に水で洗い、清潔なタオルやペーパータオルでよく拭き取って乾かします。

指間と手のひらの隅々も洗い洗います。手首も忘れずに洗います。

マスクを外す瞬間に要注意!

感染リスクが高まる

大人数や長時間に及ぶ飲食、カラオケ、車中などマスクなしでの会話は控えよう

共同生活では部屋やトイレなどの共用スペースでの感染に注意を

休憩室、喫煙所、更衣室など場面が切り替わっても引き続き感染予防を

感染力が強い変異株にご注意ください!!

2021年版

ゼロ密を目指そう!

～一つの密でも避けましょう～

- 密接しない
- 密集しない
- 密閉しない

人と会うときは

- 人と十分な距離を保つ!
- 混雑している場所や時間を避ける!
- オンラインの利用や時差出勤を!
- 屋外でも密接、密集を避ける!

飲食するときは

- 少人数・短時間で、大声は避けて!
- ガイドラインを守ったお店で!(アクリル板の設置、消毒、換気の徹底など)
- テイクアウトやデリバリーも!

ポイント 会話時はマスクを着用

※体調不良時の出勤・登校などはお控えください。

新型コロナウイルスまん延下における避難所運営について

新型コロナウイルス感染症対策



消費者庁
Consumer Affairs Agency



経済産業省
Ministry of Economy, Trade and Industry



厚生労働省
Ministry of Health, Labour and Welfare



消毒や除菌効果をうたう商品は、目的に合ったものを、正しく選びましょう。

➤ チェックポイント

使用方法 有効成分 濃度 使用期限

※ 商品の購入の際には、必ずこの4点をチェックするようにしましょう。

① 手指のウイルス対策

こまめな手洗いを心がけましょう。

石けんやハンドソープを使った丁寧な手洗いをを行うことで、十分にウイルスを除去できます。さらに消毒剤等を使用する必要はありません。



② 物品のウイルス対策

テーブル、ドアノブなどの身近な物の消毒には、塩素系漂白剤や、一部の家庭用洗剤等が有効です。

塩素系漂白剤等の詳しい情報は
こちらから！

https://www.meti.go.jp/covid-19/pdf/0327_poster.pdf



家庭用洗剤等の詳しい情報は
こちらから！

<https://www.meti.go.jp/press/2020/05/20200522009/20200522009-1.pdf>



③ 空間のウイルス対策

定期的に換気してください。



注) まわりに人がいる中で、消毒や除菌効果をうたう商品を空間噴霧することは、おすすめしていません。



新型コロナウイルスまん延下における避難所運営について



感染症対策 へのご協力をお願いします

新型コロナウイルスを含む感染症対策の基本は、「手洗い」や「マスクの着用を含む咳エチケット」です。

①手洗い

正しい手の洗い方

手洗いの前に

・爪は短く切っておきましょう
・時計や指輪は外しておきましょう

1



流水でよく手をぬらした後、石けんをつけ、手のひらをよくこすります。

2



手の甲をのばすようにこすります。

3



指先・爪の間を念入りにこすります。

4



指の間を洗います。

5



親指と手のひらをねじり洗います。

6



手首も忘れずに洗います。

石けんで洗い終わったら、十分に水で流し、清潔なタオルやペーパータオルでよく拭き取って乾かします。

②咳エチケット

3つの咳エチケット

電車や職場、学校など人が集まるところでやろう



マスクを着用する
(口・鼻を覆う)

ティッシュ・ハンカチで
口・鼻を覆う

袖で口・鼻を覆う

正しいマスクの着用



1 鼻と口の両方を
確実に覆う

2 ゴムひもを
耳にかける

3 隙間がないよう
鼻まで覆う



何もせずに
咳やくしゃみをする



咳やくしゃみを
手でおさえる

首相官邸
Prime Minister's Office of Japan

厚生労働省
Ministry of Health, Labour and Welfare

詳しい情報はこちら

厚労省

検索



新型コロナウイルスまん延下における避難所運営について

「住宅・家具用洗剤」が手元にない場合には？

台所用洗剤を使って
代用することもできます。

「住宅・家具用洗剤」を使用する場合は、製品に記載された使用方法どおりに使用してください。

(1) 洗剤うすめ液を作る。

たらいや洗面器などに500mlの水をはり、台所用洗剤*を小さじ1杯（5g）入れて軽く混ぜ合わせる。

(*食器洗い機用洗剤ではなく、スポンジなどにつけて使う洗剤です。有効な界面活性剤が使われているかも確認しましょう。)



(2) 対象の表面を拭き取る。

キッチンペーパーや布などに、(1)で作った溶液をしみこませて、液が垂れないように絞る。汚れやウイルスを広げないように、一方向にしっかり拭き取るようにする。

(3) 水拭きする。

洗剤で拭いてから5分程度たったら、キッチンペーパーや布などで水拭きして洗剤を拭き取る。特に、プラスチック部分は放置すると傷むことがあるので必ず水拭きする。



(4) 乾拭きする。

最後にキッチンペーパーなどで乾拭きする。

新型コロナウイルスまん延下における避難所運営について

台所用洗剤で代用する場合は…

安全上の注意

- 手指・皮膚には使用しないでください。
- スプレーボトルでの噴霧は行わないでください。

効果的に使うためのポイント

- 作り置きした液は効果がなくなるので、洗剤うすめ液は、その都度使い切りましょう。
- 台所用洗剤でプラスチック部分（電話、キーボード、マウス、TVリモコン、便座とフタ、照明のスイッチ、時計など）を拭いた場合、そのまま放置すると傷むことがあります。必ず、すぐに水拭きしましょう。
- 塗装面（家具、ラッカー塗装部分、自動車の塗装面など）や、水がしみこむ場所や材質（布製カーテン、木、壁など）には使わないでください（シミになるおそれがあります）。

新型コロナウイルスまん延下における避難所運営について

以下は、次亜塩素酸ナトリウムを主成分とする製品の例です。
商品によって濃度が異なりますので、以下を参考に薄めてください。

メーカー (五十音順)	商品名	作り方の例
花王	ハイター	水1Lに本商品 25mL (商品付属のキャップ1杯)
	キッチンハイター	水1Lに本商品 25mL (商品付属のキャップ1杯)
カネヨ石鹼	カネヨブリーチ	水1Lに本商品 10mL (商品付属のキャップ1/2杯)
	カネヨキッチンブリーチ	水1Lに本商品 10mL (商品付属のキャップ1/2杯)
ミツエイ	ブリーチ	水1Lに本商品 10mL (商品付属のキャップ1/2杯)
	キッチンブリーチ	水1Lに本商品 10mL (商品付属のキャップ1/2杯)

【注意】

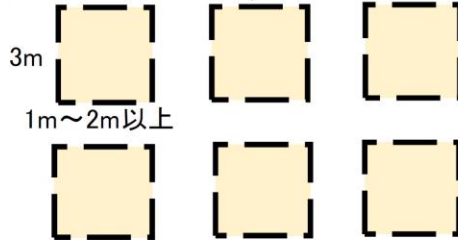
- 使用にあたっては、商品パッケージやHPの説明をご確認ください。
- 上記のほかにも、次亜塩素酸ナトリウムを成分とする商品は多数あります。
表に無い場合、商品パッケージやHPの説明にしたがってご使用ください。

健康な者の避難所滞在スペースのレイアウト（例）

- 体育館のような広い空間において、健康な者が滞在するスペースとしては、以下のような方法が考えられる。
- 感染リスクの高い高齢者・基礎疾患を有する者・障がい者・妊産婦等が滞在する場合には、避難所内に専用スペースを設けることが望ましいが、体育館内に専用ゾーンを設け、以下と同様の考え方で利用することも考えられる。

テープ等による区画表示

(例) 3m 1m~2m以上



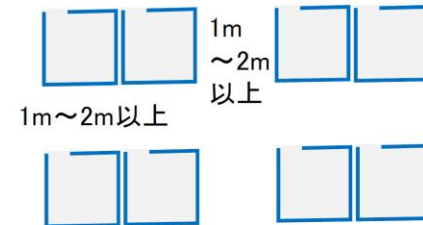
○ 一家族が一区画を使用し、人数に応じて区画の広さは調整する

○ 家族間の距離を1m以上あける

※スペース内通路は出来る限り通行者がすれ違わないように配慮する必要がある

テントを利用した場合

(例)

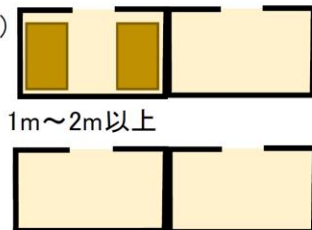


○ テントを利用する場合は、飛沫感染を防ぐために屋根がある方が望ましいが、熱中症対策に十分注意することが必要

パーティションを利用した場合

○ 飛沫感染を防ぐため、少なくとも座位で口元より高いパーティションとし、プライバシーを確保する高さにすることが望ましい。また、換気を考慮しつつ、より高いものが望ましい。

(例)



※ 人と人の間隔は、できるだけ2m(最低1m)空けることを意識して過ごしていただくことが望ましい。

※ 上記は全て実施することが望ましいが、災害時において、種々の制約が想定され、出来る範囲で最大限実施することが望まれる。

新型コロナウイルスまん延下における避難所運営について

ポイント3. 避難所の開設

専用スペースの確保

- ・発熱等の症状が出ている人が行動する**ゾーン及び導線分け**を行い、他の避難者との接触を避ける
 - ※例えば、学校の場合、体育館に加え、使用していない空き教室等を含む学校全体のスペースの活用を検討する等、専用スペースの確保に努める
 - ※パーティションや間仕切り、簡易テント、段ボールベッド等の使用も留意

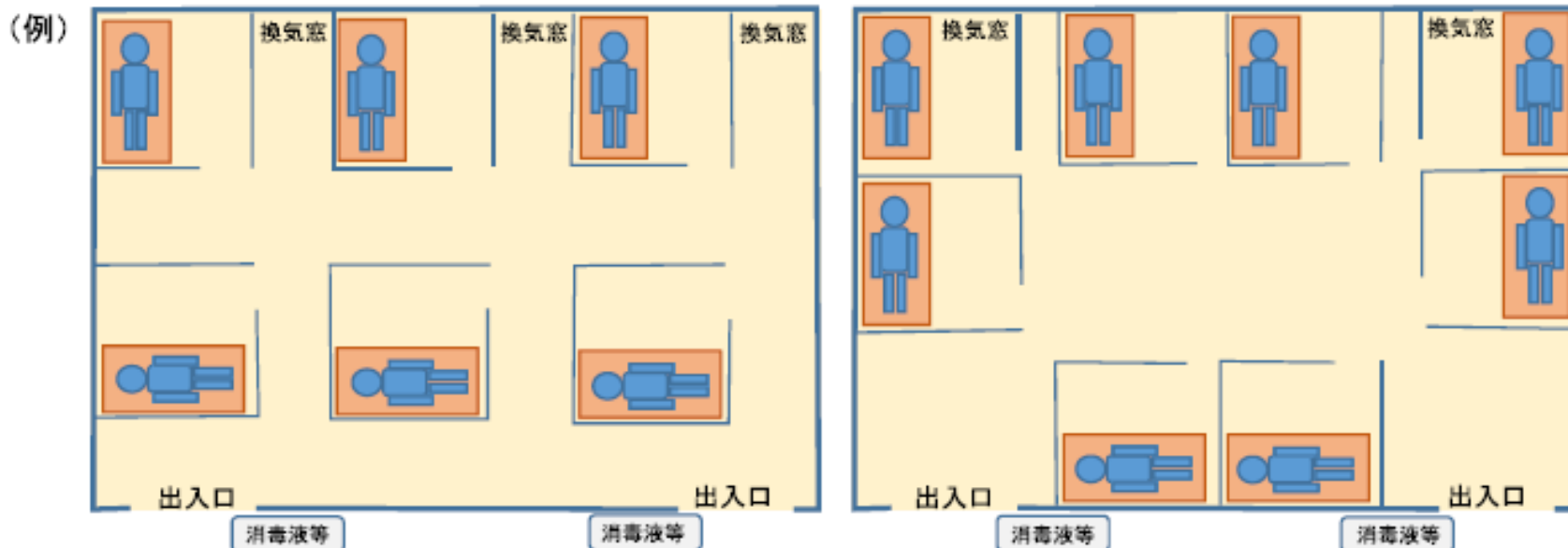


新型コロナウイルスまん延下における避難所運営について

R2. 5. 20
第1版

発熱・咳等のある者や濃厚接触者専用室のレイアウト（例）

- 発熱・咳等のある者は、可能な限り個室にすることが望ましいが、難しい場合はそれぞれ専用のスペースを確保する。やむを得ず同室にする場合は、パーティションで区切るなどの工夫をする。
- 濃厚接触者は、可能な限り個室管理とする。難しい場合はそれぞれ専用のスペースを確保する。
※濃厚接触者は、発熱・咳等のある者より優先して個室管理とする。



※飛沫感染を防ぐため、少なくとも座位で口元より高いパーティションとし、プライバシーを確保する高さにすることが望ましい。また、換気を考慮しつつ、より高いものが望ましい。

- 軽症者等は、予め災害時の対応・避難方法等を決めておくことが望ましいが、避難所に一時的に滞在する可能性がある。
- 感染予防および医療・保健活動のしやすさの観点から、地域における感染拡大状況や、各避難所、活用するホテル・旅館等の状況を踏まえ、防災担当部局や保健福祉部局等の連携のもと、必要に応じて特定の避難者の専用の避難所を設定することも考えられる。
(例：高齢者・基礎疾患を有する者・障がい者・妊産婦用、発熱・咳等の症状のある者用、濃厚接触者用)

※ 上記は全て実施することが望ましいが、災害時において、種々の制約が想定され、出来る範囲で最大限実施することが望まれる。

新型コロナウイルスまん延下における避難所運営について

避難者への周知・徹底

- ・**こまめな手洗い、消毒、咳エチケット**の徹底、タオルの共用は避ける
- ・ゴミはビニール袋で密閉して処理するようにする
- ・食事時間をずらすことや対面での食事や会話を控えるなど、**食事時の3密対策**を実施する
- ・30分に1回以上の**十分な換気**(効率的に室内を換気するため、対角方向の窓の開放)
- ・避難所内は**土足厳禁**とし、脱いだ靴を持ち込む場合は用意しておいたビニール袋に個人別に靴を入れる。車いす等の車輪は適宜消毒する
- ・**発熱等の症状が出た場合は、専用スペースに誘導し、医療機関に速やかに相談する**
なお、医療機関へ引き継ぐときに健康状態を確実に伝達できるよう、予め避難者自身に経過観察記録をつけさせることが望ましい

新型コロナウイルス感染者が発生している場合は、他地域からの広域応援が十分確保できないことが想定されます。住民による避難所の自主運営にご理解とご協力をお願い致します。

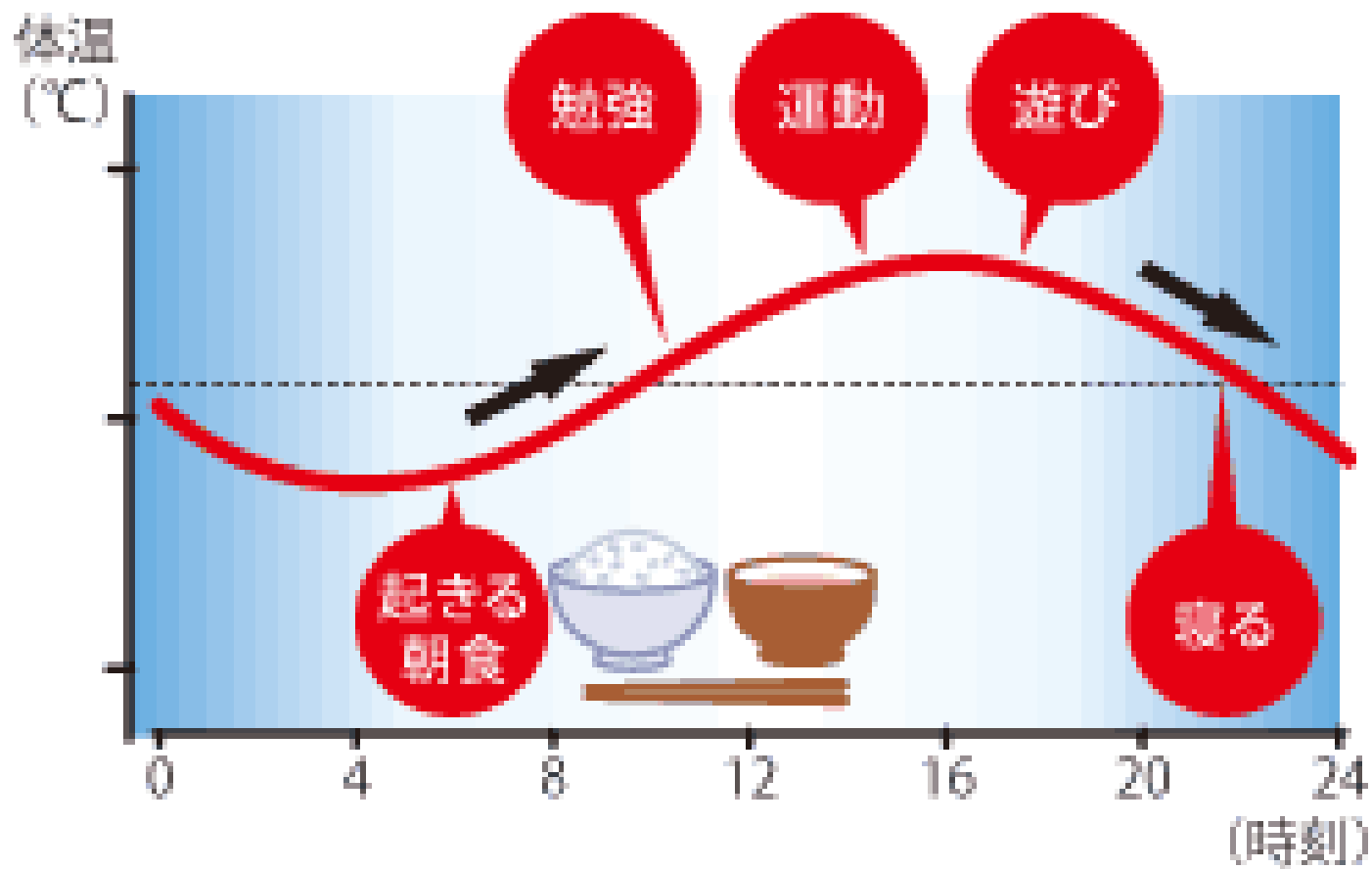
新型コロナウイルスまん延下における避難所運営について

発熱者等に対する経過観察記録（一例）

ふりがな	※その他（持病・服薬・アレルギーなど）
氏名	(歳) (男・女)

		/ (月)	/ (火)	/ (水)	/ (木)	/ (金)
体温※ (できるだけ同じ時間に測ってください。) (症状がひどくなった時にも測ってください。) ※		朝 (時 分) (°C)	朝 (時 分) (°C)	朝 (時 分) (°C)	朝 (時 分) (°C)	朝 (時 分) (°C)
		夕 (時 分) (°C)	夕 (時 分) (°C)	夕 (時 分) (°C)	夕 (時 分) (°C)	夕 (時 分) (°C)
症状	1. 息苦しさ (呼吸困難)	はい・いいえ 症状の番号 ()	はい・いいえ 症状の番号 ()	はい・いいえ 症状の番号 ()	はい・いいえ 症状の番号 ()	はい・いいえ 症状の番号 ()
	2. 強いだるさ (倦怠感)					
	3. 高熱					
	4. 激しい咳					
	嘔吐や吐き気	はい・いいえ	はい・いいえ	はい・いいえ	はい・いいえ	はい・いいえ
	腹痛、下痢	はい・いいえ	はい・いいえ	はい・いいえ	はい・いいえ	はい・いいえ
	血便	はい・いいえ	はい・いいえ	はい・いいえ	はい・いいえ	はい・いいえ
	発疹	はい・いいえ	はい・いいえ	はい・いいえ	はい・いいえ	はい・いいえ
	その他の症状					

新型コロナウイルスまん延下における避難所運営について



体温には1日のリズムがある(画像引用:TERUMOより)